

# 夢と誇り

フェイストゥフェイスを  
大切にしたい

新年あけましておめでとうございます。

令和二年、2020年が始まりました。高松市市政施行130周年の年。そして東京2020東京オリンピック・パラリンピックの年です。56年前の前回、5歳の私は、父の膝の上に乗って、白黒テレビの前で観戦していました。重量挙げや体操、女子バレーでの日本選手の活躍に心を躍らせたことをおぼろげながら覚えています。

それと同時に、三波春夫さんが歌っていた「東京五輪音頭」のサビの部分、「オリンピックの顔と顔」という歌詞が鮮明に記憶に残っています。世界の国々からアスリートが集い、人類の多様性を一般国民レベルで実感した最初の機会であったかも知れません。

高度成長期の真っ只中であった前回と異なり、人口減少、超高齢社会、デジタル社会の本格化の中で行われるオリンピックです。しかし、世界のアスリートが集い、「顔と顔」を付き合わせて競技を行うスタイルは同じです。スポーツの楽しさとともに、フェイストゥフェイスのリアルの交流の大切さを子供達が感じられるように。そして、東京オリンピック・パラリンピックが地方創生にも資する意義のあるイベントとして成功し、高松市並びに市民皆様にとって今年一年が明るく実りのある年となることを祈っています。

(写真:今年の抱負の漢字一文字は「結」(むすぶ・ゆい)です。結果して結果を出しましょう。)

高松市長 大西ひでと

急速に変化を遂げる  
令和の時代

大西ひでと後援会会長 平田 喜一郎

明けましておめでとうございます。

もう一つ我々が喫緊の課題として取り組むべきものとしてデジタル社会への対応があります。これについて香川県出身でA.I.研究の第一人者・東大の松尾教授は、我が国の企業の対応は世界の中で大きく遅れていると警鐘を鳴らしております。令和の時代になり日本ももっと積極的に取り組む必要があります。

昨年は災害の多い年でした。高松は多くのことが市場をすべて奪ってしまう。このようなことが今後あらゆる業界で起きるであろうと予言しております。

自治体での取り組みでは、大西市長は早くからスマートシティ高松の実現に取り組んでこられており、少子高齢化、人口減少といった社会問題対策に、また災害対策に生かそうとしておられます。令和の時代は急速に社会がイノベーションにより変化を遂げる時代になるでしょう。

自助努力はもちろん、産官学が協力し合つて、明日の社会を創つていければと願います。



大西ひでと  
後援会会報

vol.14  
2020年1月

夢と誇り 大西ひでと後援会会報 vol.14 令和2年1月20日発行

■編集発行／大西ひでと後援会 TEL.087-899-7625 FAX.087-899-7624

TOPICS

## チームひでと奮闘記

### 3度目の無投票で四選



平成30年12月市議会において大西市長は四選へ向けての決意を表明した。それを受け、後援会としての準備に取り掛かった。市長が3期目に掲げたマニフェストの検証と、次期マニフェストの発表の機会として、「大西ひでと市政報告会」を開催し、会員・市民に思いを訴えた。

結果3度目の無投票で当選を果たすことになりました。前回の選挙戦で大勝したおごりもなく、「老若男女の笑顔が輝く元気な高松の創生」に向、更なる進化を目指す市長に対し、後援会として、側面からの支援を行ってまいります。



4年に一度の市長選挙。「市長候補の大西ひでと、どうぞご支援いただきますようお願ひいたします。」小雨降るなか出発した遊説隊は、市長本人と奥様とともに、市内各地へと車を走らせました。沿道の市民に伝えたいことは僅か数秒の時間ですが、3期12年市長としての確かな実績を積み上げ、更なる進化を目指したい強い信念を呼びかけ、選挙演説でも沢山の方々に訴えました。

午後5時無投票当選の一報が入った瞬間、選挙力内は歓声と喜びにわきました。気がつくと雨は止み心も空も晴れ晴れ!はじめて遊説に参加し、1だけの選挙戦に感動をおぼえたのです。

初めての選挙遊説に感動 遊説隊 石川由美

2019年8月9日 新事務所へお引越し



新スタッフ  
田丸幸代さん

初めて田丸幸代と申します。  
長い間専業主婦でしたが、子育ても一段落いたしましたので事務職に復帰する事になりました。高松市長の後援会でのお仕事で緊張はございますが、皆さまが軽くお立ち寄りいただける事務所を目指して、明るくアットホームな雰囲気を心掛けて頑張りますので、宜しくお願いします。



### 後援会事務局からのお知らせ

平成24年から7年間事務局員として大変ご苦労頂きました、山下順子さんが昨年8月末をもって退任されました。長い間ご苦労をおかけし、本当にありがとうございました。後任として田丸幸代さんにお世話頂くことになりましたのでよろしくお願いします。

### 大西ひでと後援会新事務所



Tel. 087-899-7625 Fax. 087-899-7624

大西ひでと後援会 <http://www.oi-hideto.com/> ウェブ検索

### 2019 後援会活動報告

- 1月20日 後援会会報「夢と誇り」第13号を発行 全会員に会費納入依頼と併せ送付しました。  
2月8日 第1回役員会を開催 大西市長から4選への所信等についての講演の後、4月21日の市長選挙に向けての日程等について協議しました。  
3月1日 「大西ひでと市政報告会」を開催 「マニフェスト2015」の検証を、映像と市民代表との討論で紹介し、新たな「マニフェスト2019」を発表しました。  
3月17日 選挙事務所を東ハゼ町に開設 多くの役員の出席のもと、神事に引き続き事務所開き式を行いました。  
4月11日 役員および選挙対策本部合同会議 選挙対策について協議しました。  
4月14日 出陣式を開催 来賓、役員、会員参加のもと、盛大に出陣式を開催しました。  
当選確定発表式 他に立候補者はなく、3回目の無投票で見事4選を果たされ、発表式を行いました。  
6月23日 総会および懇親会を開催 第2回役員会終了後、「令和元年度通常総会」を開催。引き続き、懇親会を行いました。

# Hideto Onish Activity Report 2019

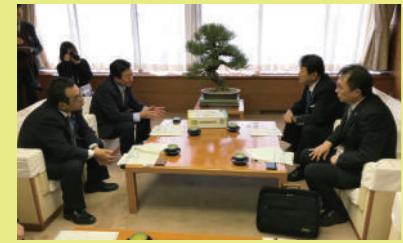
平成31年屋島山上初日来迎式



January  
1/1

屋島山上で実施された初日来迎式に参加し、お集まりの皆様に挨拶をするとともに、恒例の願掛けかわらけ投げを行い、新しい年をスタートしました。

高松市・美馬市の観光連携に向けたトップ会談



February  
2/20

本市南部に隣接する美馬市の藤田市長とのトップ会談で、両市がそれぞれ観光地としての魅力を高めながら、観光連携で協力していくとの共通認識を図りました。

「さぬき動物愛護センター しっぽの森」開所式



March  
3/10

県市で整備した「しっぽの森」の開所式に出席し、挨拶とテープカットを行いました。動物愛護精神の普及啓発に取り組む施設として大いに期待しています。

国立療養所大島青松園 創立110周年式



April  
4/23

大島青松園での式典に出席し、来賓として挨拶を行いました。今後も入所者の皆様方が良好、平穏な生活を営むことができますよう協力・支援に努めてまいります。

4期目スタート(就任挨拶式 於 高松市役所)



May  
5/7

新任期における初出勤となり、午前中に行われた就任挨拶式に出席しました。更なる市政の発展と市民福祉の向上に向け、全力で取り組もうと、決意を新たにしました。

2019中国・四国パラ陸上競技大会 開会式



June  
6/29

開会式に出席し、挨拶を行いました。大会に併せ、台湾から、中華台北パラリンピック委員会及びパラリンピアンを招聘し、大会に参加いただきました。

第90回都市対抗野球大会(始球式)



July  
7/19

東京ドームで開催された大会のJR四国硬式野球部の初戦で始球式を行いました。昨年度準優勝の強豪に惜しくも敗れはしましたが互角の戦いを繰り広げました。

客船「ダイヤモンド・プリンセス」初寄港歓迎セレモニー



August  
8/25

11万トン余りの船内で開催された式典において、歓迎の挨拶を行いました。今後も多くのクルーズ船の寄港地に選定されるよう、より魅力的なまちづくりを行ってまいります。

第43回高松市身体障害者スポーツ大会



September  
9/21

大会に出席して挨拶を行うとともに、パン食い競争に参加して皆様と一緒に身体を動かしました。今後も市民の健康づくり、障がい者スポーツの普及・振興に努めてまいります。

水戸市への災害派遣職員出発式



October  
10/18

浸水被害などに見舞われた本市の親善都市である茨城県水戸市に職員6名を派遣。8日間にわたり、災証明書の発行に係る家屋調査(現地調査)を行いました。

第81回全国都市問題会議



November  
11/7-8

「防災とコミュニティ」をテーマに開催された会議に、日本都市センター理事長として出席。常に危機意識を持ち、防災対策に取り組む必要があることを再認識しました。

亀阜校区サンタクロース年末交通安全街頭キャンペーン



December  
12/23

亀阜小学校で行われた出発式で挨拶を行った後、学校正門前での街頭キャンペーンに参加し、「交通安全」の旗を持って通行中の皆さんに交通安全を呼びかけました。

# 無投票当選で4期目へ

4月14日に告示された高松市長選挙は、他に立候補の届け出がなく無投票で4選。令和の幕開けと同時にスタートする4期目の4年間を見据えた「マニフェスト2019」を掲げ、気持ちも新たに市政に力を注いでいます。

## 事務所開き



高松市東ハゼ町の事務所開きには、大西市長が目指すまちづくりに賛同するたくさんの支援者が詰めかけました。参加者一同、必勝を祈願して厳かに神事を執り行いました。

## 遊説風景



選挙事務所前で第一声を上げ、選挙カーで市内全域を巡回しました。雨の中、伏石町の商業施設駐車場と高松三越前で街頭演説を行い、「先の見えにくい時代だからこそ、しっかりと将来ビジョンを打ち立て、実現するための施策を展開していく」と力説。集まっていたたくさんの方々に、大西市長の姿を印象的でした。

## 当選報告会



遊説から戻った本人が選挙事務所に姿を見せると、会場は大きな拍手に包まれ喜びに沸き返りました。支援者と万歳三唱で4選を祝った後、あいさつに立った大西市長は、「新たな任期では市民の声を反映した施策を実現したい」と決意を新たにしました。



## 「大西ひでと市政報告会」

とき／2019年3月1日  
ところ／高松テルサホール



高松市長選挙の告示日である4月14日、朝一番に石清尾八幡宮で必勝祈願を終えた後、選挙事務所で出陣式に臨みました。県選出の国会議員に激励されて登壇した大西市長は、「高松のさらなる発展のため、市政の舵取り役の重責を担っていただきたい」と支持を訴えました。

これまでの実績報告や、マニフェスト2015の検証などをテーマにした「市政報告会」を開催しました。まず、30分弱のDVD放映で3期12年間の実績を映像で分かりやすく紹介しました。続くパネルディスカッションでは、高松大学の佃昌道学長をコーディネーターに建築家林幸稔氏、NPO法人子育てネットひまわり有澤陽子氏を招きマニフェスト2015を検証。最後に、間近に迫った高松市長選挙を前に4期目に向けた意気込みを盛り込んだ「マニフェスト2019」を発表しました。

## マニフェスト2019

クリエイティブ・コア

瀬戸内創造拠点都市・高松のさらなる進化を!

“持続可能で多様性を尊重する共生都市”の実現に向け

### 独創指向

自ら最適解を考え実行する

### 未来指向

先を見通し実行する

### 世界指向

世界の中での高松という視座で実行する

### マニフェストのテーマ

- 1.共生のまちづくり
- 2.安全と環境のまちづくり
- 3.健康のまちづくり
- 4.創造のまちづくり
- 5.未来のまちと人づくり
- 6.信頼のまちづくり